
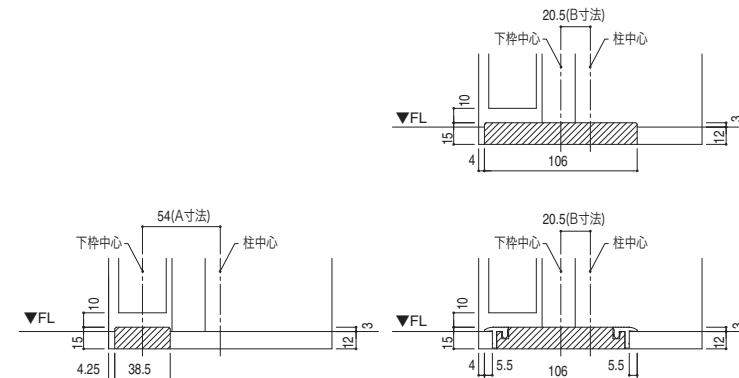
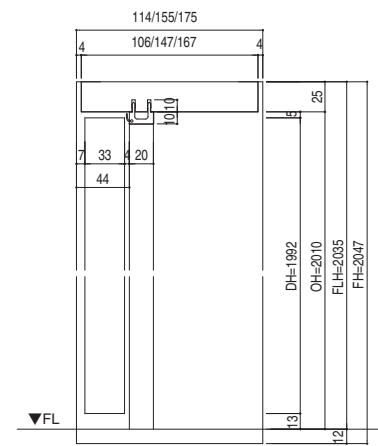
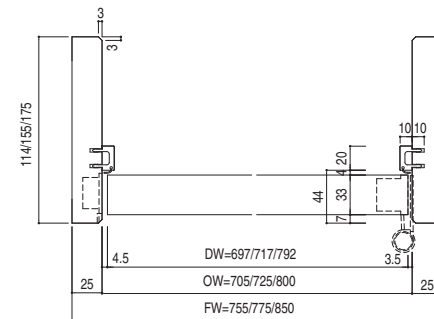
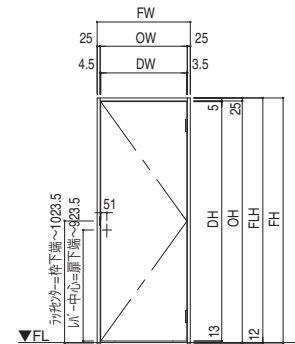
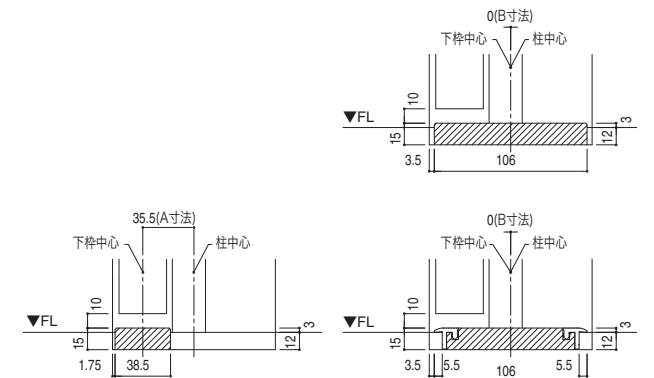
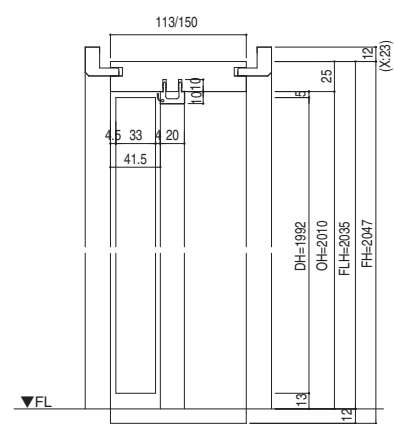
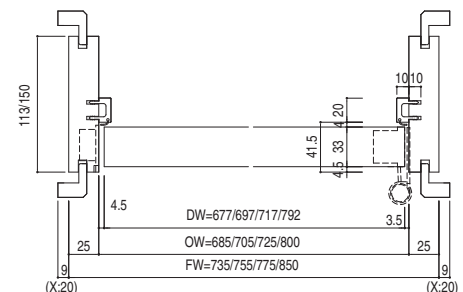


ケーシング梱包(ケーシングタイプのみ)		
<p>ケーシング</p> <p>※固定枠には付きません</p>	<p>縦用:4 上用:2</p>	



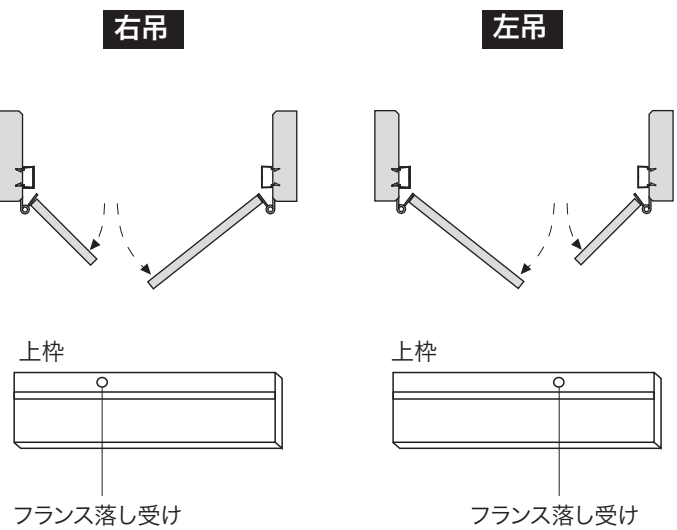
	○	枠見込	△	FW(枠外)	H	□
固定枠	W	114mm	T	735mm	2047mm	色品番
	S	155mm	S	755mm		
	L	175mm	X	775mm		
ケーシング枠	PF(A~C・X)	113mm	M	850mm		
	QF(E~G)	150mm	N	640mm		



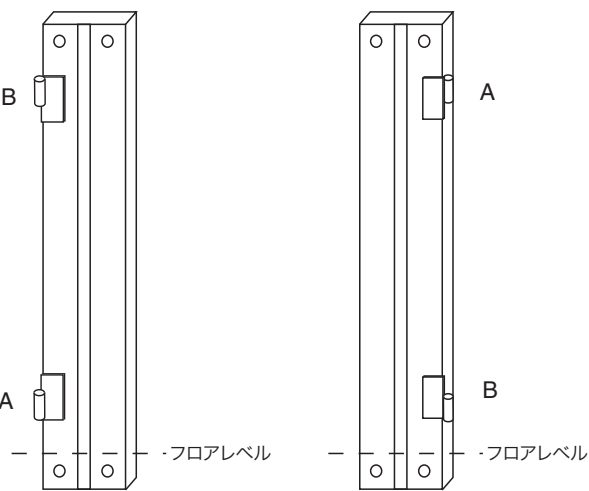
取付け順

1. 枠の組立て

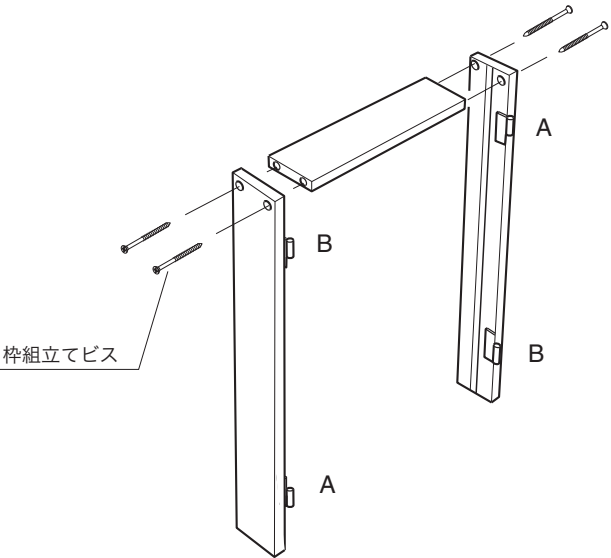
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



②必要に応じて下端カットしてください。

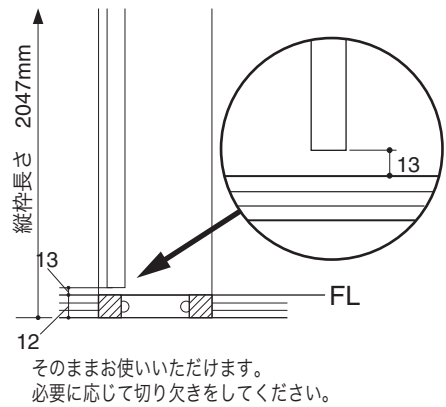


③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。

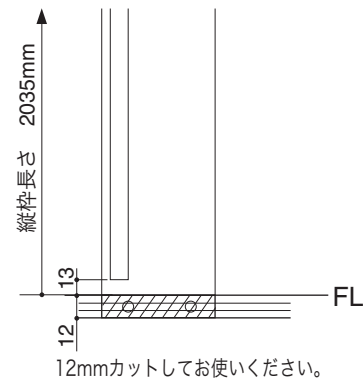


<参考>縦枠カット寸法

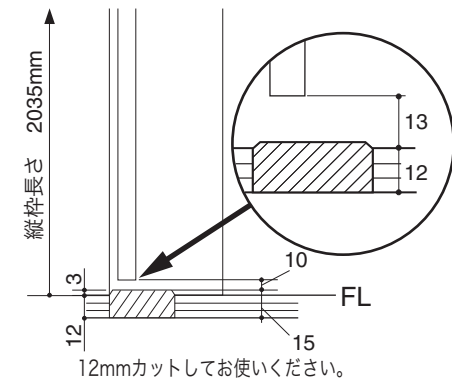
①12mm床埋め込み



②フロア直置き



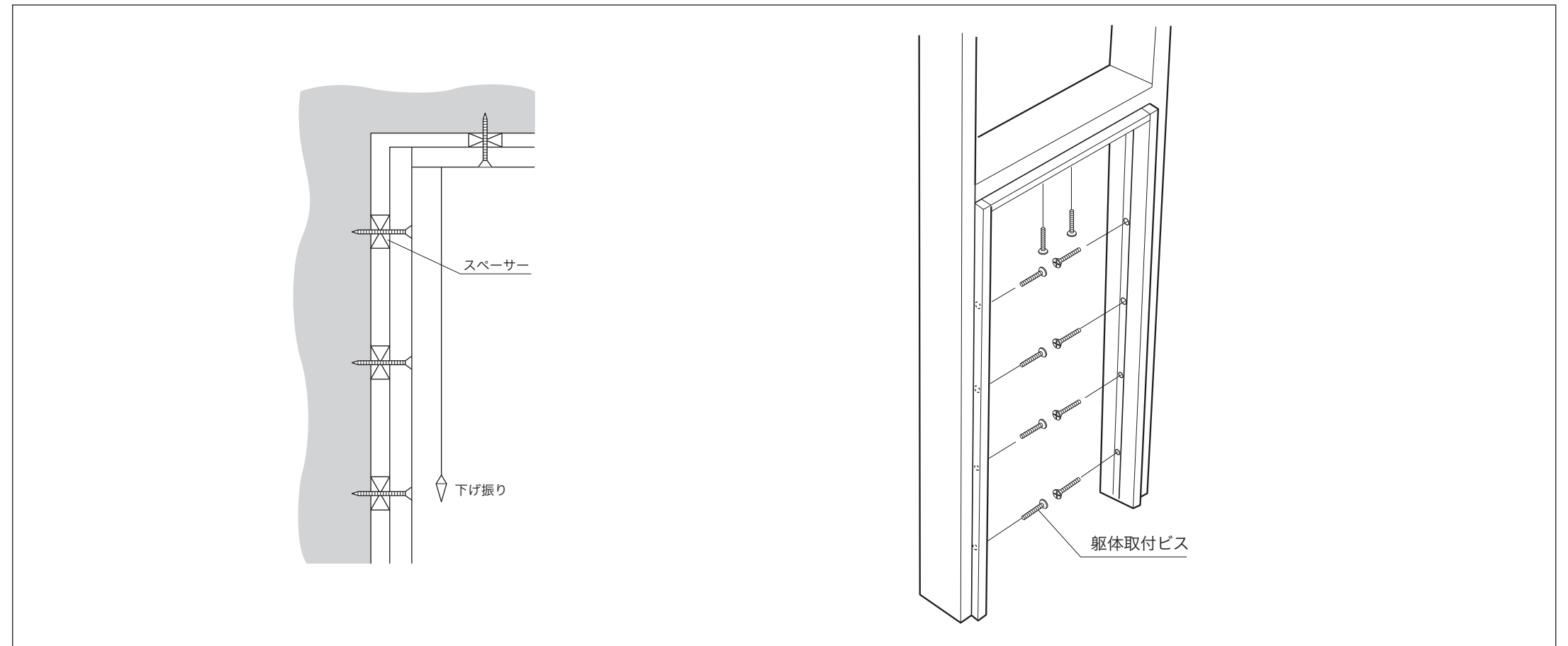
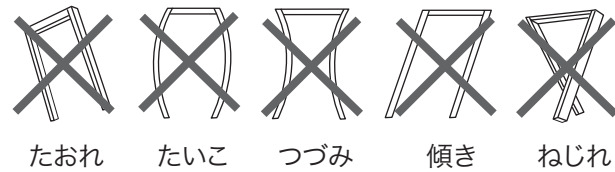
③フロア直置き(下枠施工時)



2. 枠の取付け

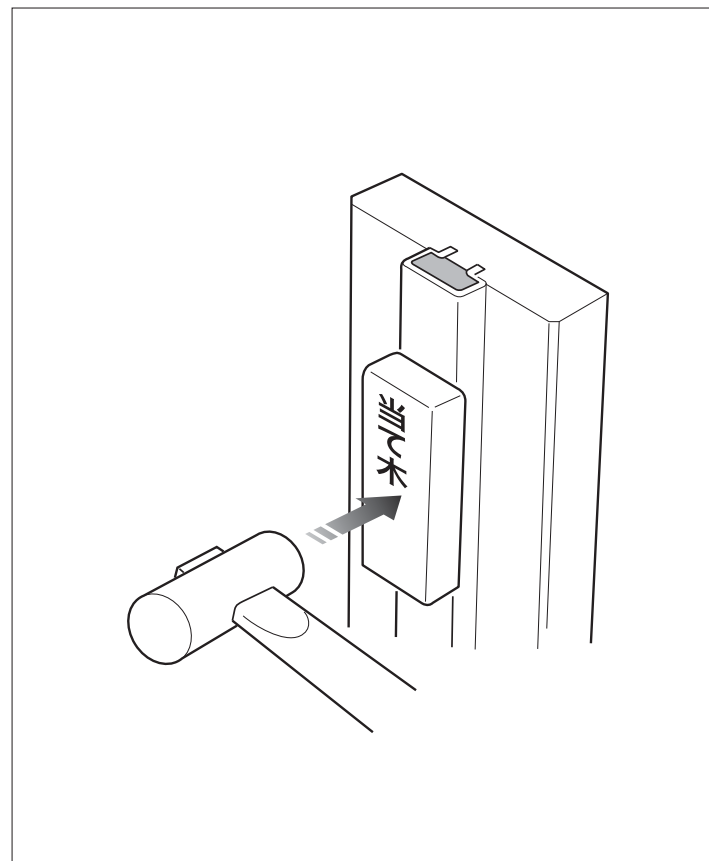
- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。
- ③フランス落としの下用受けつばを、上枠の加工位置を確認しビスで固定してください。

※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 戸当りの取付け

- ①枠の2本の溝に接着剤を入れ、当て木などを添えて打込みます。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。



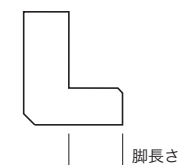
4. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取付けてください。
●ケーシングの納め方は留め式です。
縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

ケーシングには、脚の長さが4種類あります。
壁厚など現場仕様に合わせて、使い分けできます。

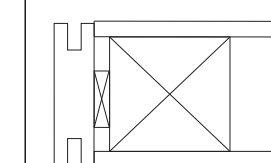
《ケーシング品番》

CR - ○2 - 72 - □

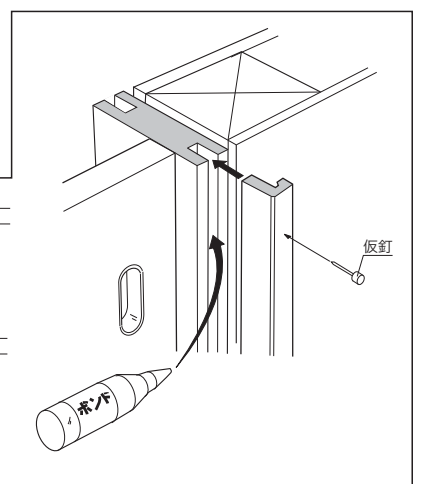


O	脚長さ
A・E	10mm
B・F	16mm
C・G	23mm
X	9mm

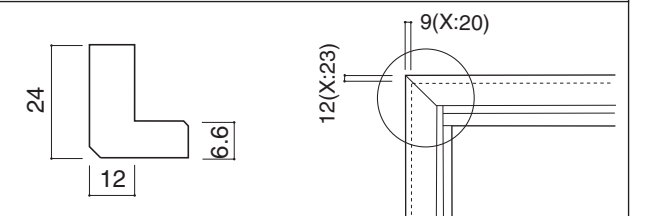
枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。



*枠はボード面より2mm程度下げて取付けてください。



ケーシング (留め式)



※Xケーシングは形状が異なります。

注意

現場寸法に合わせてケーシングの切り口をタッチアップし、綺麗に仕上げるよう、注意してください。

5. 扉の吊込み

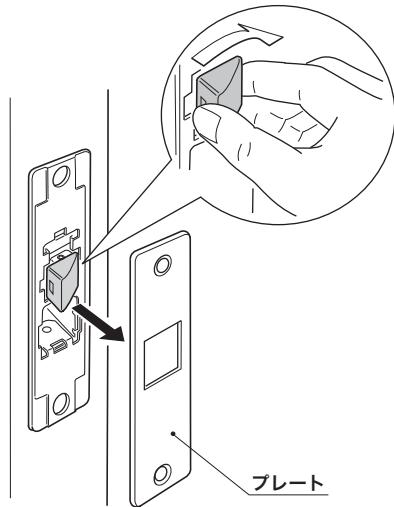
- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

注意

- ① 一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ② 扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。
(標準は右吊用になっています。)



- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
- ※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。